

A decorative border consisting of a thin black line forming a rectangle, with stylized leafy vines and leaves extending from the corners and along the top and bottom edges.

標語部門  
入賞作品

小学生の部

《特選》

おもいやり  
うれしいことば  
ありがとう

亀山小学校二年 小田嶋 慶 さん  
おだじま けい

《特選》

行動で  
相手もかわる  
自分もね

稲枝西小学校三年 小森 彩知花 さん  
こもり さちか

《入選》

思いやり  
心のベッドは  
ふっかふか

亀山小学校二年 中村 彩音 さん  
なかむら あやね

《入選》

あいさつを  
みんなにいおう  
なんかいも

金城小学校一年 藤井 瑛大 さん  
ふじい えいた

《入選》

「助きたい」と  
思う心を  
行動に

城南小学校六年 秋山 賢明 さん  
あきやま けんめい

《入選》

その言葉  
あいてのことを  
考えた？

城北小学校六年 寺村 美咲 さん  
てらむら みさき

《特選》

伝えよう  
感謝のことば  
ありがとう

西中学校一年 岩崎 いわさき  
春喜 しゅんき さん

《特選》

認め合う  
君と自分の  
違う良さ

彦根中学校三年 権藤 ごんどう  
翔馬 しょうま さん

《入選》

すてきだね  
自分で決めて  
行動すること

西中学校一年 藤田 ふじた  
直矢 なおや さん

《入選》

君は今  
世界のパズルの  
1ピース

河瀬中学校二年 本田 ほんだ  
舞子 まいこ さん

《入選》

その言葉  
一度いったら  
消せないよ

西中学校一年 森本 もりもと  
瑞希 みずき さん

《入選》

思いやり  
小さな気づきが  
つなぐ橋

南中学校三年 村田 むらた  
隼基 じゆんき さん

一般の部

《特選》

何気ない  
日々の会話が  
栄養剤

鳥居本養護学校

みずかみ  
水上 梨奈 さん

《入選》

手をのばす  
勇気一つで  
救われる

彦根工業高等学校二年

こほやし  
小林 聖虹 さん

《入選》

気づく心  
広げてつなぐ  
思いやり

株式会社 永昌堂

つじかわ  
辻川 雅人 さん

《特選》

ありがとう、  
ごめんなさい、  
笑顔の花咲く  
魔法のことは

彦根市子どもセンター

ふじもと  
藤本 知子 さん

《入選》

言葉は通じなくても  
優しさは届く、  
あなたの笑顔で。

匿名希望 さん

《入選》

ちがう声  
ひびきあわせて  
歌になる

株式会社 永昌堂

たなか  
田中 愛奈 さん

## 《標語部門総評》

標語部門には、小学生の部二  
三七点、中学生の部六七点、一  
般の部三七点、総数三四一点の  
応募がありました。

はーとふるメッセージとして、  
例年たくさんの標語に出合いま  
す。標語一つ一つに作り手の思い  
が表れています。はーとふるメッ  
セージは、標語を作ること・読む  
ことで、人権について考えるとい  
う機会を与えてくれます。学  
校だけでなく、家庭、地域、職  
場で一人一人が人権について真  
剣に考えることのきっかけになる  
と考え、読者に人権について考  
える視点を与えてくれるものを  
選考しました。

### 【小学生の部】

小学校は一年生から六年生  
までと発達の幅が広い部になり  
ます。一年生の感じていること  
と六年生の感じていることは、随  
分違いがあります。しかし、言  
葉の使い方にあたたかさを感じ

ます。小学校の人権学習の取組  
に「ちくちく言葉」と「ふわふわ  
言葉」がありますが、気持ち  
「ふわふわ」するようなやわらか  
い言葉が、心をあたたためてくれ  
ることを子どもたちは学習して  
知っています。小学生の標語に  
使われている言葉は「ふわふわ  
言葉」なのだと感じます。友達  
のこと、周りの人たちのことを考  
えて言ったり行動したりするこ  
との大切さを教えてくれる標語  
でした。

### 【中学生の部】

中学生になると、言葉の使い  
方が変わります。違いを認める  
ことや、自己決定することの大  
切さ、自分の存在価値などを表  
現するために、象徴的な言葉を  
使ったものが多くなります。読  
んで分かれるという標語から、考  
えないと分からない標語へと変  
わります。考えるために一歩立  
ち止まることで、より深く人権  
について考えるという相乗効果  
を呼びます。自分という存在を

認める、また周りの人の存在を  
受け入れる、そのことが、日々  
生活の安心につながるということ  
を伝えたい標語が多かったです。

### 【一般の部】

一般の部も象徴的な言葉が使  
われている点が中学生の部と共  
通します。「栄養剤」や「魔法」  
というような象徴的な言葉が、  
日常の中でのコミュニケーションが  
いかに大切かを教えてくれます。  
また、優しさや思いやりの気持  
ちは、言葉だけでなく行動や態  
度からも伝わります。特に、相  
手の気持ちに寄り添おうとす  
る姿勢は、深い絆を生み出すき  
っかけとなります。人と人とのつ  
ながりを大切に考えた標語だ  
と感じました。

入賞した標語を目にし、立ち  
止まって考え自分の思いを表現  
し、行動に移す。その一連の流  
れが、彦根市を、人権を大切に  
する町に変えていくのだと思  
います。このはーとふるメッセー  
ジが、市民の皆様的心里に深く届く

ことを願っています。

標語部門選考委員